令和7年度

富山県公共事業再評価事業

重点審查対象分 資料

令和7年10月16日

富山県

様式2

令和7年度富山県公共事業再評価調書

整理番号		事業名		路線名•河川名等			事業箇所			
1	道路橋りょう改築			一般県道 姫野能町線			ックリミチ 射水市作道~高岡市中曽根			
着手	完了	経過年数	残事業 年数	再評価 区分	総事業費 (百万円)	前年度まで 事業費 (百万円)	R7 事業費 (百万円)	残事業費 (百万円)	進捗率	
H26	R12 (R8)	12年	5年	3回目	4,700 (3,400)	2,625	649	1,426	69.7%	

全体計画

道路改良(バイパス)

延長 L=1,800m

幅員 W=13.5m(暫定2車線)

事業費の単位は百万円、下段()書きは前回再評価時の数値である

事業概要の説明

本路線は、国道8号を北側に補完し、富山市、射水市、高岡市を結ぶ道路ネットワークを形成するとともに、能越自動車道高岡北ICや北陸自動車道小杉ICへのアクセス道路となっており、国際拠点港湾伏木富山港の伏木地区と新湊地区の連絡を強化するなど、地域の活性化や県西部の経済・産業の発展に寄与する重要な幹線道路である。

本路線と並行する国道8号や国道415号の庄川渡河部においては、通勤利用や伏木富山港への貨物輸送による慢性的な交通渋滞が発生していることから、これまでに、庄川の新設橋を含む区間(1期区間2.0km)の整備を進めてきたところであり、本区間(2期区間)を整備することにより、渋滞の緩和はもとより、伏木富山港から能越自動車道高岡北IC、北陸自動車道小杉ICへのアクセスの強化による三大都市圏との物流ネットワークの向上など、さらなる物流の効率化に寄与するものである。

評価の視点と自己評価内容

1. 事業を巡る社会経済情勢等の変化

指標名	単位	事業着手時	今回評価時	備考
高岡市人口	人 177,005		159,358	10.0%減少
※富山県HP	(H26.1)		(R7.4.1)	(△17,647)
射水市人口	人	94,981	88,180	7.2%減少
※富山県HP		(H26.1)	(R7.4.1)	(△6,801)
交通量	台/日	8,148	10,233	25.6%增加
県道姫野能町線 高岡市中曽根(現道)		(H22センサス)	(R3センサス)	(+2,085)
交通量	台/日	13,798	11,066	19.8%減少
国道415号射水市庄川本町(新庄川橋)		(H22センサス)	(R3センサス)	(△2,732)
交通量	台/日	39,674	36,242	8.7%減少
国道8号 高岡市石瀬(高新大橋)		(H22センサス)	(R3センサス)	(△3,432)
伏木富山港(伏木·新湊地区) 取扱貨物量 ※富山県HP	t	5,314,236 (H25)	5,582,854 (R5)	5.1%增加 (+268,618)

自己評価内容

評価結果 事業継

・高岡市、射水市の人口は減少しているが、周辺路線の自動車交通量は一部増加している。

・1期区間供用(H26.3)後は並行する国道8号や国道415号の交通量は減少しており、渋滞緩和に効果が見られる。

続が妥 当

・本路線は能越自動車道高岡北IC、北陸自動車道小杉ICへのアクセス道路であり、富山県西部の広域的な経済・産業発展や観光交流を促進する上で、本バイパスの事業効果は大きい。

2. 事業の投資効果

指標名	単位	事業着手時	今回評価時	備考	
費用便益(B/C)	_	4.6 (H25算出)	3.7	前回評価時3.6(R3)	

数値化が困難な事業効果

- ・能越自動車道高岡北IC、北陸自動車道小杉ICとのアクセス向上による地域の活性化や経済活動の促進。
- ・災害時における緊急車両の通行や救援物資の輸送等、国道8号等を補完する機能。

自己評価内容	評価結果
・用地・補償費の増加などにより、総事業費が増加し、費用便益比が事業着手時より減少しているが、1.0以上であり、事業投資効果がある。 ・本路線は、能越自動車道高岡IC、北陸自動車道小杉IC、国際拠点港港である伏木富山港への広域的なネットワークを構成するアクセス道路であり、富山県の広域的な経済・産業発展や観光交流を促進するうえで事業効果が期待できる。	事業継 続が妥 当

3. 事業の進捗状況、見込

全体計画			令和7年	度まで整備済	未整備内容 令和7年度までの近 (%)				
主な工種(単位)	数量	事業費 (百万円)	数量	事業費 (百万円)	数量	事業費 (百万円)	事業量ベース	事業費ベース	
道路改良工(m)	1,800	1,729	0	570	1,800	1,159	0.0%	33.0%	
調査設計等	_	403	_	396	_	7	_	98.3%	
用地•物件補償(m	1,800	2,568	1,800	2,308	0	260	100.0%	89.9%	
合計	3,600	4,700	1,800	3,274	1,800	1,426	50.0%	69.7%	

残事業内容および今後の整備見込

- ・残事業の工種は、道路改良工1,800mである。
- ・これまで西側(高岡市側)から順次、用地補償および一部道路改良工(水路工)を進めてきた。 ・本年度にて用地補償は完了の見込みであり、今後は残る道路改良工を進める。

自己評価内容 ・地元の協力を得て、用地補償は順調に進んでいる。	評価結果事業継
・道路改良工事においても、事業の実施に障害はなく、順調に進捗している。	続が妥当
4. 今後のコスト縮減や代替案立案等の可能性(工法、計画の見直し等含む)	
自己評価内容	評価結果
・道路の盛土材に他工事で発生した土砂を利用することで、約1.5億円のコスト縮減となる。	事業継 続が妥 当

その他の視点

5. 関係機関との調整状況、他事業との関連など

・高岡市、射水市などから早期完成の要望を受けている。

6. 事業の緊急性(適時性)および事業を見直した場合に想定される影響

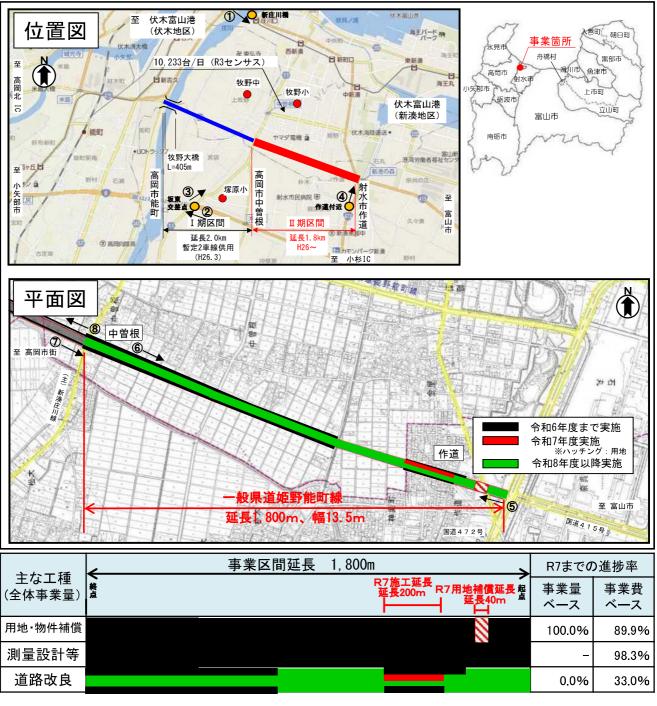
- 本路線と並行する国道8号や国道415号における慢性的な交通渋滞が緩和されない。能越自動車道高岡北ICや北陸自動車道小杉ICへのアクセスが強化されず、さらなる物流の効率化が図られない。

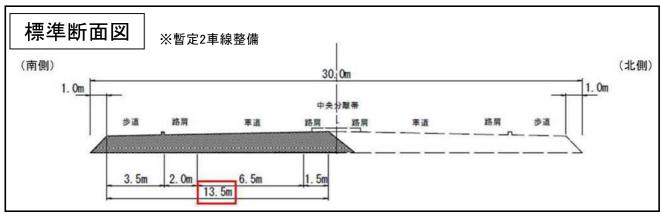
自己評価内容の総括

対応方針(案)	対応方針(案)の説明
継続	・費用便益費は1.0を上回っており、十分な投資効果がある。 ・本路線と並行する国道8号や国道415号における慢性的な交通渋滞の緩和が図られる。 ・能越自動車道高岡北IC及び北陸自動車道小杉ICへのアクセス強化により、広域的な経済・産業発展や観光交流が促進される。 ・地元からの要望も強く、用地買収も順調に進んでおり、安全で円滑な交通を確保するため事業継続が必要。

様式3-1

5 道路橋りょう改築 一般県道姫野能町線(射水市作道~高岡市中曽根)





整備前の状況

周辺道路にて通勤利用や貨物輸送による慢性的な渋滞が発生



(国)415号 新庄川橋付近



(国)8号 沖塚原交差点付近



(主)新湊庄川線 坂東交差点付近



現況写真(整備状況)

(5)



現況写真(射水市作道地区) 【起点側より望む】

6



道路改良整備状況(高岡市中曽根地区)

7



現況写真(高岡市中曽根地区) 【終点側より望む】



整備済み区間(高岡市上牧野地区)

様式2

令和7年度富山県公共事業再評価調書

整理番号		事業名		B	路線名·河川名等			事業箇所			
2	道路橋りょう改築費			シュヨウ チホウ ドウ タカオカ コスギ セン 主要地方道 高岡小杉線			イミズシ ハシケショウ ミナᢌイコウヤマ 射水市橋下条~南太閤山				
着手	完了	経過年数	残事業 年数	再評価 区分	総事業費 (百万円)	前年度まで 事業費 (百万円)	R7 事業費 (百万円)	残事業費 (百万円)	進捗率		
H28	R15 (R10)	10年	8年	2回目	9,400 (7,000)	2,473	282	6,645	29.3%		

全体計画

道路改良(高架化)

延長 L=1.200m

幅員 W=40m

事業費の単位は百万円、下段()書きは前回再評価時の数値である

事業概要の説明

・本路線は高岡市と射水市、富山市を東西に連絡する道路の一部であり、国道8号を補完し広域的な交通ネットワークを支える る重要な幹線道路である。

・また、主要地方道高岡小杉線及び国道472号は重要物流道路の一部に指定されており、国際拠点港湾伏木富山港と北陸 自動車道小杉ICとのアクセスを担う重要な道路である。

・事業箇所である本路線と国道472号との交差点(五歩一交差点)は、県内の主要渋滞箇所に選定されており、多くの交通が集中することから、損失時間は朝タピークを中心に昼間12時間を通して高い。

・また、追突や右折時の出会い頭の事故など渋滞に起因する事故が多発しており、県内有数の交通事故多発地点でもあることから、国の安全走行阻害箇所にも選定されている。

・高岡小杉線を高架化し五歩一交差点を立体交差することにより、高岡市、射水市、富山市を結ぶ幹線道路として沿線地域 の連携強化と地域開発、市街地交通の円滑化や安全性の向上が期待される。

評価の視点と自己評価内容

1. 事業を巡る社会経済情勢等の変化

指標名	単位	事業着手時	今回評価時	備考	
人口	人	680,360	649,028	4.6%減少	
(富山市、高岡市、射水市計)		(H27.10)	(R7.4)	(△31,332)	
交通量 ※道路交通センサス		23,393	28,310	21.0%増加	
(高岡小杉線 射水市橋下条地内)		(H22)	(R3)	(+4,917)	
旅行速度 ※道路交通センサス	(km/h)	上り40.9/下り32.8	上り32.3/下り25.7	ピーク時旅行速度が	
(高岡小杉線 射水市橋下条地内)		(H22)	(R3)	7.1~8.6km/h減少	
伏木富山港(伏木·新湊地区)	t	5,168,833	5,582,854	8.0%增加	
取扱貨物量※富山県HP		(H27)	(R5)	(+414,021)	

自己評価内容

富山市、高岡市、射水市の人口は減少している。

評価結果 事業継 続が妥

当

しかしながら、周辺路線の自動車交通量は一部増加しており、旅行速度の減少がみられる。これは、高岡環状線の一部供用や、大型商業施設の開業の影響を受けたものと考えられる。

また、伏木富山港の取扱貨物量も増加傾向にあり、国道472号の物流による交通需要が高まっているものと考えられ、五歩一交差点の立体交差化による交通円滑化への影響は大きい。

2. 事業の投資効果

指標名	指標名 単位 事業着手時		今回評価時	備考	
費用便益(B/C)	_	1.8 (H27算出)	1.7 (R7算出)	前回評価時1.3 (R2算出)	

数値化が困難な事業効果

- ・能越自動車道高岡IC、北陸自動車道小杉IC及び富山、高岡、射水市街地へのアクセス向上による地域の活性化。
- ・伏木富山港~北陸自動車道小杉IC、工業団地(小杉インターパークなど)の連携強化による物流効率化などの生産性向上。

┃ 自己評価内容	評価結果
・費用便益比が1.0以上であり、事業投資効果がある。 ・本路線は、能越自動車道高岡IC、北陸自動車道小杉IC、国際拠点港伏木富山港への広域的なネットワークを構	事業継 続が妥
成するアクセス道路であり、富山県の広域的な経済・産業発展や観光交流を促進するうえで事業効果が期待でき	当
ే .	

3. 事業の進捗状況、見込

全体計画			令和7年	度まで整備済	未整備内容 令和7年度までの (%)				
主な工種(単位)	数量	事業費 (百万円)	数量	事業費 (百万円)	数量	事業費 (百万円)	事業量ベース	事業費ベース	
橋梁上部工(m)	429	3,850	0	0	429	3,850	0.0%	0.0%	
橋梁下部工(基)	15	3,045	8	1,452	7	1,593	53.3%	47.7%	
道路改良工(m)	751	2,148	108	946	643	1,202	14.4%	44.0%	
調査設計等	-	357	_	357	_	0	100.0%	100.0%	
合計	1,195	9,400	116	2,755	1,079	6,645	9.7%	29.3%	

残事業内容および今後の整備見込

- 令和6年度までに調査設計(道路詳細設計、橋梁詳細設計)、高架化に伴う市道の函渠工事、埋文調査、橋梁下部工5基の 施工を完了した。
- ・令和7年度は橋梁下部工3基の施工を実施し、順次整備を進めているところ。
- ・今後は、引き続き橋梁下部工を進めると共に、上部工・道路改良の工事を推進し、令和15年度の供用を目指す。

自己評価内容	評価結果	
事業の実施に障害は少なく、順調に進捗している。	事業継 続が妥 当	
·		
4. 今後のコスト縮減や代替案立案等の可能性(工法、計画の見直し等含む)		
自己評価内容	評価結果	
現地調査の結果、土工区間の地盤改良が必要となり、それに合わせて舗装構成を見直すことで、約1,000万円のコスト縮減を図る。	事業継 続が妥 当	

その他の視点

5. 関係機関との調整状況、他事業との関連など

- ・七美太閤山・太閤山高岡線建設促進期成同盟会(会長:射水市長)などから早期整備を要望されている。
- ・地域住民説明会を通じ、周辺住民との合意形成に努めている。

6. 事業の緊急性(適時性)および事業を見直した場合に想定される影響

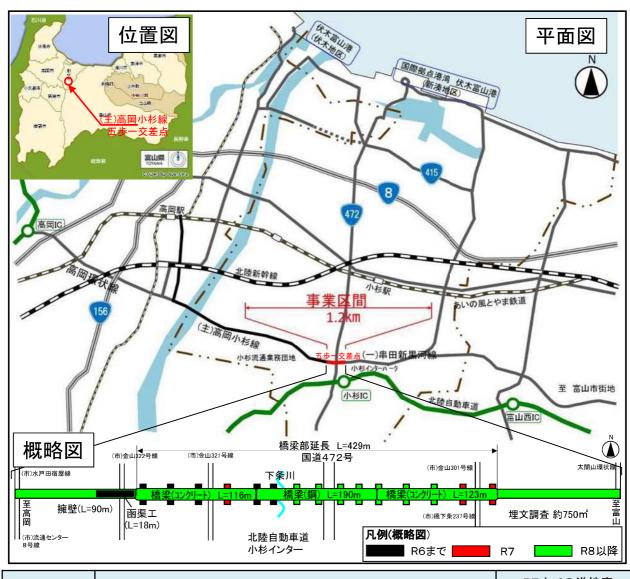
- ・朝夕の時間帯を中心に渋滞が発生しており、その解消が求められている。 ・現道では人身事故が発生しており、安全な交通環境を確保することが求められている。 ・沿線には工業団地(小杉インターパークなど)が立地しており、物流面からも伏木富山港、小杉ICとのアクセス向上が求めら れている。

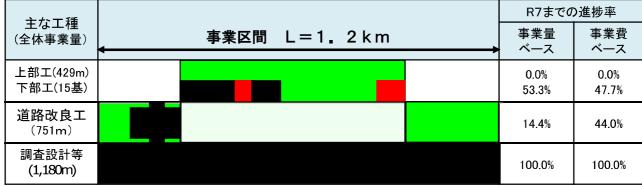
自己評価内容の総括

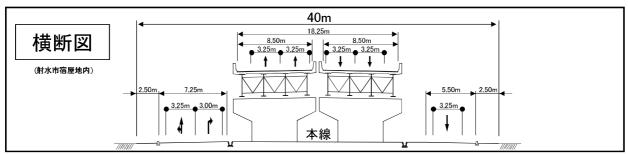
対応方針(案)	対応方針(案)の説明
	・本事業により、交通量が多い交差点を立体化することで、交通事故の減少と混雑緩和を図り、安全で円滑な交通を確保できる。 ・能越自動車道高岡IC及び北陸自動車道小杉IC、国際拠点港富山伏木港へのアクセス強化により、快適な道路ネットワークが形成され、人、モノの交流を促進が図られる。

様式3-1

2 道路橋りょう改築事業 高岡小杉線(射水市橋下条~南太閤山)







様式3-2

整備前の状況







現況写真







